



# スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、

なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより  
令和5年12月5日 第22号  
TEL 41-0003 FAX 41-0974  
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

## 11/24(金) 今年度第2回避難訓練「垂直避難訓練」を初めて行いました

今年度第2回目の避難訓練は、「垂直避難」訓練を実施しました。垂直避難とは、災害時、自分がいる建物が倒れたり浸水のおそれがある場合、建物の2階以上に移動する方法です。「大雨により足羽川氾濫警戒情報が発出され、東郷小が、洪水による浸水のおそれがあるため、速やかに垂直避難をする」という想定で実施しました。2004年の福井豪雨、昨年は南越前町での豪雨災害と、集中豪雨に備える必要性が高まっています。そこで次の流れで行いました。



- ① 足羽川氾濫警戒情報が発出、垂直避難(全校児童・全職員が3階へ避難)の判断をする。
- ② 全校児童は各自の備えとして、衣服を入れた体操袋と水筒を持つ。
- ③ 1、2階にいる児童は、職員と共に指定されている3階教室に避難する。
- ④ 3階に全員の避難が完了したか、人員報告をする。
- ⑤ 職員は、「避難した児童の見守り」「非常持出」の2班に分かれ、非常持出班は浸水の情報に注意しながら非常持出品を運ぶ。



垂直避難は初めてでしたが、「真剣にやる」ことに関しては、全校児童・職員とも何回も実施してきました。その経験を生かし、子どもたちは緊急放送や教職員の指示をよく聞いて、落ち着いて静かに避難を完了することができました。(今回「**自分で考えて真剣に訓練できたか**」は**97%**でした。)訓練後、私からは「避難のタイミングやどこに逃げるかなど、決めるのは大人。大人のいうことをよく聞いて。」「できることは自分でやる。でも、命が最優先。決して無理はしない。」ことを話しました。また、福井豪雨の際の写真を見せ、垂直避難について考えてもらうきっかけともしました。

今回の訓練に合わせて、教職員では「垂直避難時、命を守るための非常持出として、何を優先的に持ち出すとよいか」について話し合っています。学校敷地内には備蓄倉庫があり、事前に福井市危機管理課や東郷自主防災協議会様とも連絡を取り合いました。地震や火事と違い、浸水に関しては避難までにほんのわずかですが猶予があります。「命を最優先」を大原則としつつ、垂直避難では児童・職員ともにどんな準備が可能か、今後も考えていきます。訓練の様子を参観して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

○ひなんくんれんでも、ほんとうのときみたいにできたのでよかったです。ほうそうをよくきいて、もちものをすばやくまとめることができたのでよかったです。(1-1 Yさん)

○水がいからにげるほうほうがわかってよかったです。そして、なにをもっていくとか、いろいろなことがわかってよかったです。(1-2 Tさん)

○マフラーを先生に気づいてもらってよかったです。水がいは、いつおこるかわからないので、しっかり今日のことをおぼえておきたいです。今日、家に帰ってかぞくとそうだんしてみたいです。(2-1 Yさん)

○「お(おさない)」「か(かけない)」「し(しゃべらない)」「も(もどらない)」を守れました。次のときもがんばりたいです。(2-2 Yさん)



- すいちよくひなんははじめてだったけど、しんけんに取りくめてよかったです。校長先生のお話を聞いて、遠いところより高いところのにげることを知りました。2004年の福井ごう雨は大変だったのだと思いました。(3-1 Sさん)
- わたしは、家などで水がいになったら、何をもっていくかこれから考えたいと思いました。校長先生のお話を聞いて、(学校では)3階に避難するといいいのだと思いました。(3-2 Uさん)
- もしも家だったら、学校といっしょで2階か3階ににげたいと思いました。学校だったら先生のお話、家だったらお父さんやお母さんの話をちゃんと聞いて、ひなんしたいです。(3-3 Iさん)
- ひなん訓練は大事だなと思いました。もしも水害がおきたら、学校でやったことを生かしたいです。お年よりやしょうがいがある人は、どうやってひなんしているのか、考えてみたいです。(4-1 Sさん)
- わたしは3階にいたけど、2階や1階の子たちは3階に静かに移動して、じっと待っていたんだと思いました。本当の水害だったらみんなパニックになるだろうと思いました。そうならないためにひなん訓練があるんだなと、今さらながら気づきました。(5-1 Tさん)
- もしもの時は、持ち出すものを自分で考えて、すばやく避難するようにしたいです。これからも、災害に備えてくらししていきたいです。(5-2 Hさん)
- 水害が起きたときの行動のしかたが分かりました。必要最低限のものを持つのはいいと思います。少し重くなりますが、情報収集用に iPadを持つのもいいと思います。もし本当に水害が起きたら、先生やおうちの人の決めたことをしっかり聞いて行動したいです。(6-1 Yさん)



## 11月 本と親しむ「読書月間」これからも読書の楽しさを味わおう!

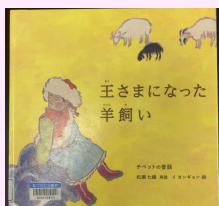
早いものでもう12月ですが、先月は学校全体で読書月間に取り組みました。「読書カレンダー作り(読書習慣)」「読んだ本をシールで記録(読書の記録)」「秋の特別読み聞かせ会(読書への誘い)」など、様々な取り組みを行いました。




中でも、特別読み聞かせ会はコロナ明け久しぶりの開催、全校集会を開いて、お世話になっている読書ボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝えました。

その後、ボランティアさんに加え、学校の先生方も読み聞かせを担当し、子どもたちは好きなどころ2ヶ所に行って、思う存分読み聞かせの世界に浸りました。

私はチベットの昔話「王さまになった羊飼い」とい



うお話を読みました。読む前にチベットの地図を見せ、子どもたちに語りかけるように、気持ちをこめて読みました。終わった後、「どの国にも、おかし話ってあるのだね」と問いかけると、子どもたちからは日本の昔話の

題名が次から次へと出てきました。こうやって、世代が違ってても同じ話題でつながることができる本ってやっぱりいいな、と  

 思える時間でした。ご家庭でのご協力ありがとうございました。

